

世界の権威あるデザイン賞で14冠、
国内を含めると19冠を達成した
世界が注目する
工業デザイナー・アートディレクターで、
2019年に事業拠点を
名古屋へ移転した
カロッツェリア・カワイ株式会社の
代表取締役を務める
川合辰弥さんにお話を伺いました。

カロッツェリア・カワイ株式会社

代表取締役・KAWAI TATSUYA

川合辰弥さん

Company Data | 会社概要

カロッツェリア・カワイ株式会社

【創業】2010年
【所在地】名古屋市千種区星が丘2-39-1
ピラカレック6-2階
【TEL】052-784-5530
【URL】https://www.ccc-japan.com
【事業内容】製品開発・デザイン・
ブランディングなど



世界基準の普遍的なデザインで 企業の課題を解決する

デザインの中で
製品の付加価値を高め、
世界へと売り込む

当社はエンジニアリングに根差したプロダクトデザイン・グラフィックデザインを中核として、クライアントの新しい事業を創造する企業です。ブランド構築におけるブランド戦略・商品企画・開発・製造・販売プロセスに必要なデザインを、適材適所かつ一気通貫してご提供しています。デザインの力で地球環境・社会・企業の課題を解決し、人々の暮らしをより良くすることを事業としています。

当社を設立する以前は、大手自動車メーカーで開発技術者として働いていました。仕事で世界最先端のヴァーチャル設計技術に触れ、それらのツールを使いこなせるのであれば、少数精鋭でも世の中の人たちが驚くようなものを創り出すことができると思つて起業に踏み切りました。会社設立にあたってイメージしたのは、イタリアに多数存在する工業デザイナー集団(カロッツェリア)です。名門のカロッツェリアでは、フェラーリを始めとした各メーカーの車体デザインを手掛け、その中で培った技術を活かして様々な製品が創り出されています。彼らはヨーロッパの見本市やデザイン賞、メディアなどを情報の発信源として利用し、手掛けた製品の付加価値を高めてから、海外に輸出することで商売を成立させています。当社はその日本版として、そのビジネスモデルを参考に実践し、日本でつくったものがヨーロッパで認められることによりブランドを創り、購買意欲と市場ポテンシャルの高いアジア圏や北米圏に販売展開していこうと考えました。

そして、創業からの10年間に実績を積み重ねたことで、クライアント企業の製品デザインにとどまらず、事業計画の作成や市場調査、ヨーロッパの見本市を起点にした販路開拓、メディア戦略など、オリジナルブランドの構築に必要なノウハウを提供できるようになりました。それらをトータルに提案できるのが当社の強みとなっています。

アナオリ カーボン ポットディスク
世界初のカーボン無水調理鍋 ANAORI CARBON POT DISCは、
世界三大デザイン賞とされる「レッド・ドット・デザイン賞2019」で最優秀賞、「iFデザイン賞2019」で金賞を受賞しています。



社名の由来 /



カロツツェリアとは、イタリアのカーデザイナーを中心とした工業デザイナーの集団です。彼らが工業製品で培った技術を活かして、様々なプロダクトデザインを手掛けているように、日本のカロツツェリアを創りたいと社名に用いました。

愛用のアイテム紹介 /

スケッチ用のペン類



デザインのアイデアが思い浮かんだ時や、暇さえあればスケッチ用のペンで紙に製品デザインのイメージを書き込んでいます。すべての仕事の始まりであり、0から1を生み出すために欠かせない道具です。

仕事で大切にしていることは /

クライアントの課題を本質的に解決するとともに、世界最高レベルのデザインを実現する。

クライアントの抱える課題を本質的に解決することに加え、世界最高レベルのデザインを実現させることを大切にしています。そのうえで、地球や社会に貢献できるものになっていけば、なおさら素晴らしいと思っています。



アナオリ カーボン ポット オーバル
ANAORI CARBON POT OVAL

世界初のカーボン無水調理鍋シリーズの第一弾製品。優れた遠赤効果に加え、高度な加工精度による高密封性が食材の旨味を引き出します。世界三大デザイン賞の完全制覇と国際的なアワード7冠の快挙を達成しています。



事務所併設のショールーム

クライアント企業や海外からバイヤーが来訪された際に、これまで手掛けてきた実績や製品を手にとって見ていただけるだけでなく、会社の雰囲気を感じ取ってもらいながら商談を進められる場所になっています。



アナオリ カーボン ポット ディスク
ANAORI CARBON POT DISC

シェフの声を集めて機能性を追求したカーボン無水調理鍋。レコードディスクに着想を得た独創的かつシンプルな造形美とカーボン製の革新的な機能が評価され、世界三大デザイン賞の最高賞をダブル受賞しています。



ミノバセラミックジェルナイフ

陶磁器産地の美濃と瀬戸、金属刃物産地の関と燕三条の14社が協力したプロジェクトで、伝統と最先端技術を集結して作り上げたファインセラミック製テーブルナイフ。美濃焼の絵付け技術による華やかな装飾が特徴です。

デザイン都市名古屋で、事業規模の拡大を図り、企業の成長を支援する

昨年、事業拠点を岐阜県多治見市から名古屋へ移転しました。会社のさらなる発展を考えた時に、自分の分身のようなクリエイターを育てていかなければいけない時期に来ていた当社にとって、名古屋は次世代を担う若い人材を獲得するのに都合の良い場所でした。また、ものづくり企業が多い土地柄もあって、当社の事業基盤を固めるのに適していました。さらに、関東と関西のどちらにも行き来しやすく、海外へアクセスするのにも便利だったことも移転の決め手となりました。そのような地の利を活かし、今後は中部地区から全国そして世界へと、より多くの企業を成長させるお手伝いをしていきたいですね。

論理的な思考に基づくデザインでものづくりに革新を起こす



オリジナルブランドの立ち上げなど、思考の転換が生き残りのカギ

その一例が、OEM脱却を目指していた大阪の穴織カーボン(株)というカーボン加工メーカーからの依頼で立ち上げたオリジナルブランド「ANAORI CARBON KITCHENWARE」です。世界初のカーボン無水調理器具シリーズとして、5年の歳月をかけたグローバルブランドへの成長をサポートさせていただきました。中でも「ANAORI CARBON POT OVAL」は、革新的なカーボンセラミックの特性を最大限に活かした色合いとフォルムが評価され、世界の三大デザイン賞といわれる「IFデザイン賞」「レッド・ドット・デザイン賞」「IDEA賞」を完全制覇したほか、国際的なアワードで7冠の快挙を達成しています。この経験を踏まえて、認知度向上とブランドの構築を早めるためには、多くの第三者評価を集めることがマーケティング面で大事だとクライアント企業に伝えています。

また、多くのデザイン賞を受賞したことが転機となって、様々な業種の企業から当社に仕事のご依頼をいただけるようになりました。現在、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、世界中でサプライチェーンの崩壊や今までの常識や慣例が通用しなくなるような大きな変化が起きています。そのような状況において、全ての企業が既成概念に囚われない思考の転

換で、活路を開いていく必要に迫られています。そこが弊社の専門分野で、今までクライアント企業の経営陣・開発・販売部門の皆様に寄り添い、一緒に考えながら計画を立て、実現していくことで様々なクライアント企業のお役に立つてきました。不安を抱え、お困りの企業の皆様はぜひご相談いただければと思います。

私が考えるデザイナーの役割は、クライアント企業が生き抜いていく力を分析し引き出すことです。いわば経営者の懐刀のような存在として、デザインのスキルだけでなく、経営に深く携わりながら様々な価値を提供して新事業を生み出していくべきです。これからは持続可能な社会の実現に向けて、リサイクルまでを含めた革新的なものづくりが求められます。そして今、当社が最も力を注いでいるのは、地球環境や資源の問題を解決する再生資源等を活用した、モノと環境づくりに関わる新事業です。日本がリードする素晴らしい技術にクリエイティブな力を加えて、グローバル展開を視野にインベーションを起こそうとしています。また、それらに関連したロボット・産業機器などの開発にも携わっています。なぜなら、グローバル市場で勝ち残っているメーカーほどデザインを重視しているからです。日本のメーカーは技術者がデザインも行っているため、どんなに機能が優れていても製品に斬新さを感じられず、グローバル市場で競争に負けています。私はそこに「デザイナーの活躍する場」があると思っています。

※他社ブランドの製品を製造すること